

産地戦略

実施期間 令和5～7年度

実施主体 愛知県
都道府県 愛知県
対象地域 全域
対象品目 ナシ



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

県内のナシ産地では、高収量・高品質の生産を維持するための長年の肥培管理によりリン酸、カリが過剰に蓄積した園が多く見られる。そして、最近の世界情勢の影響により肥料価格が高騰しており、肥料コストの低減が求められている。有機質資材の利用は堆肥施用が行われているものの、化学肥料の標準量施用に上乗せで堆肥施用が行われおり堆肥に含まれている肥料成分が必ずしも効率良く活用されてきたわけではない。そこで有機質資材の肥料的利用を目的とした施用方法の検討及び有機質資材を肥料的利用した時の化学肥料を削減する減肥栽培における、果実品質、収穫量への影響を確認し、県内産地への導入について検討する。

また、有機物資材の投入には、トラクターへの脱着可能なマニユアスプレッター等を利用し、省力化・軽労化を図る。

現在の栽培体系及びグリーンな栽培体系

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名					○ 追肥1, 2, 3	○	○	○ 基肥					
技術名													施肥作業：一輪車などの利用



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名					○ 追肥1, 2, 3	○	○	◎ 基肥					
技術名					← 一部、菜種油かすへの置き換え可能	→		← 菜種油かす全量置き換え	→				施肥作業：マニユアスプレッターなどを利用

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R4	目標R10年	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	304	▶ 30	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0	▶ 10	有機質資材の肥料的利用による化学肥料の削減
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0	▶ 10	有機質資材の肥料的利用による化学肥料の削減
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0	▶ 5	マニユアスプレッター等利用による有機物資材施用の軽労化

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	慣行肥料（N-P-K＝7－5－3） 200kg/10a	▶ 菜種油かす（N-P-K＝5－2－1） 280kg/10a	基肥の有機質資材への置き換えにより、窒素成分は維持しつつ、リン酸を44%、カリを53%削減できる。
省力	慣行：一輪車などを利用して施肥	▶ マニユアスプレッター等を利用して施肥	マニユアスプレッター等の利用により化学肥料から有機質資材への置き換えで問題となる施用量増加に対する労力軽減が期待できる。

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	基肥における有機質資材への置き換えによる化学肥料の使用量の低減	10	▶ 5	リン酸：10kg/10a → 5.6kg/10a（44%削減） カリ：6kg/10a → 2.8kg/10a(53%削減)
省力	マニユアスプレッター等の利用による施肥管理作業の省力化	10	▶ 5	施肥作業時間 60分/10a → 29分/10a

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農業・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する

（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農業の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

県内JA及び愛知県果樹振興会なし部会で開催する研究会などを通じて、グリーンな栽培体系加速化事業でえられた情報を提供して、技術の普及と定着を目指す。情報提供や技術指導にあたっては、本事業で作成した栽培マニュアルを活用する。
--

関係者の役割

関係者名	愛知県	県内JA	愛知県果樹振興会なし部会
役割	・基肥における有機質資材への置き換えによる化学肥料の使用量の低減 ・マニユアスプレッター等の利用による施肥管理作業の省力化	栽培指導、研究会で情報提供	研究会による情報提供

その他